

報道関係各位

2021年9月8日
株式会社クロス・マーケティング

選択的週休3日制、「休日」より「収入」が大事か 若い世代ほど「休日が増えれば生産性が上がる」

－ 選択的週休3日制に関する調査（2021年） －

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の仕事・バイト・パートをしている男女を対象に「選択的週休3日制に関する調査（2021年）」を実施しました。週休3日制をすでに導入している企業・将来的に検討している企業もあるなか、今回は、「収入が多少減っても、休日が増えるほうがよいか」「休みが増えることで、一日当たりの仕事の生産性は上がると思うか」「休みが増えることに対して思うこと」などを聴取しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210908holidays/>

■ 調査結果

- ✓ 収入が多少減っても、休日が増えるほうがよいかを聞いたところ、「休日は増えなくていい」が4割、「休日が増えるほうがいい」が3割となった。

男性では「休日が増えるほうがいい」「休日は増えなくていい」が同程度の回答なのに対し、女性では「休日は増えなくていい」が高く、「休日が増えるほうがいい」を17.8pt上回り、収入減に抵抗がある様子が見られる。〈図1〉

- ✓ 休日が増えることで生産性が上がると思うかを聞いたところ、全体では、「生産性が上がると思う」が4割。

若い世代ほど「生産性が上がると思う」の割合が高く、20～30代では半数を占める。特に20代と60代では意識の差が明らかだった。〈図2〉

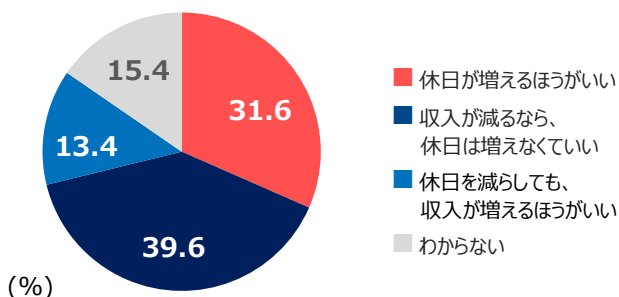
- ✓ 休日が増えることに対して思うことは、「自分が自由に使える時間が増えそう」が56.9%、「リフレッシュする時間が十分に取れそう」が42.9%、「家族と過ごす時間が増えるのがうれしい」26.7%と、TOP3はポジティブな回答が並んだ。〈図3〉

一方、ネガティブな回答としては「収入が減りそうで不安」が25.1%で4位にあがっている。

〈図1〉 収入が多少減っても、休日が増えるほうがよいか
(単一回答)

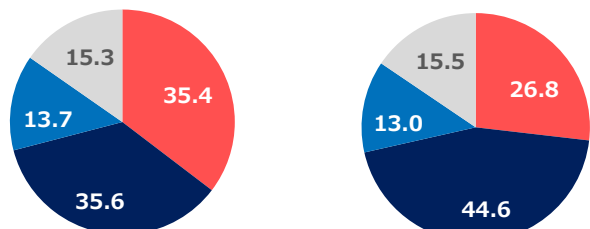
〈図2〉 休日が増えると生産性があがると思うか
※給料の額、仕事の内容・量は変わらない場合 (単一回答)

全体(n=798)



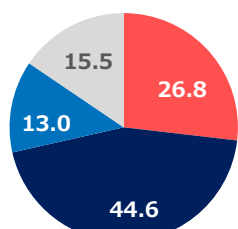
(%)

男性(n=444)

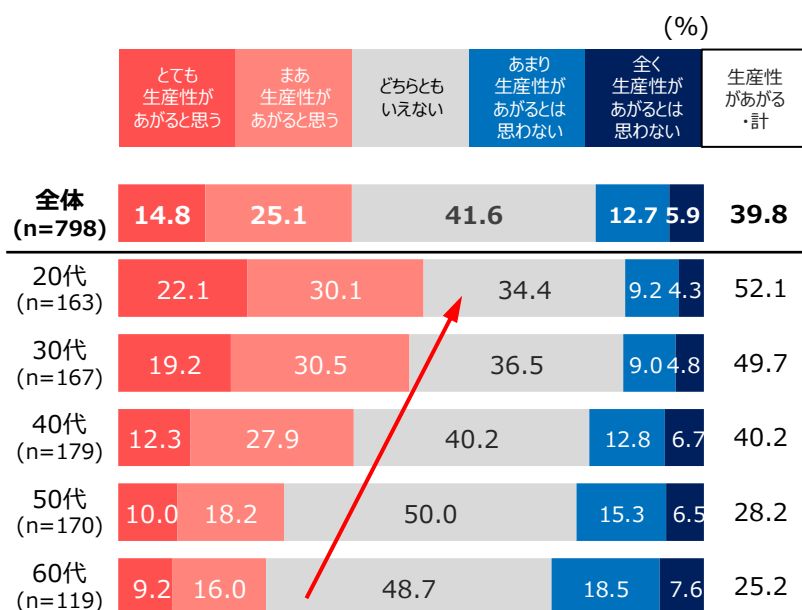


(%)

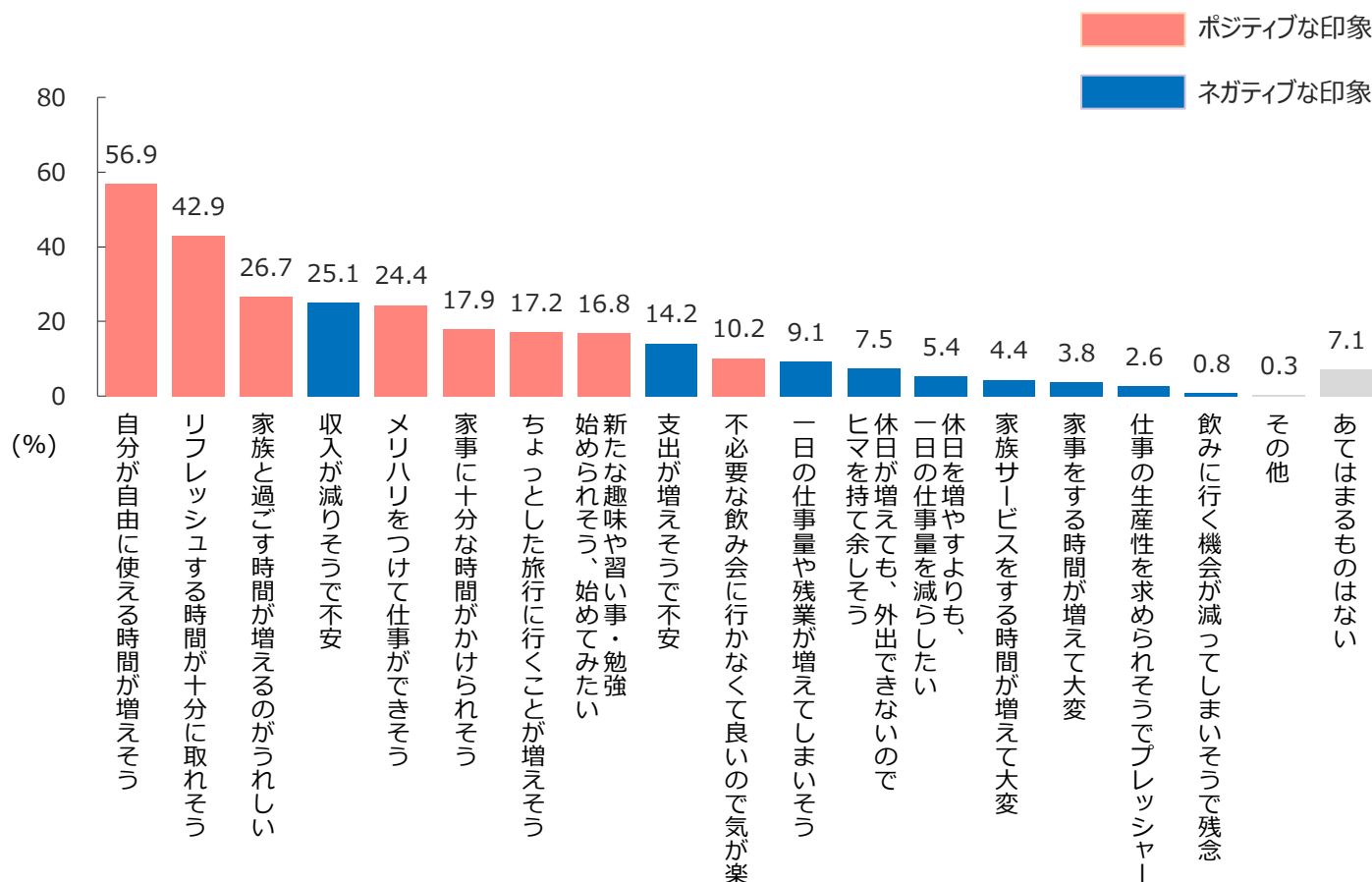
女性(n=354)



(%)



<図3> 休日が増えることに対して思うこと (複数回答：n=798)



■ 調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 仕事・バイト・パートのお休みの状況
- 収入が多少下がったとしても、休日が増えるほうがよいかどうか
- 休日が増えることによる1日当たりの生産性について
- 休日が増えることに対して思うこと

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210908holidays/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～69歳の男女
 調査期間 : 2021年9月3日(金)～9月5日(日)
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル (本レポート: 有職者798サンプル) ※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

≪引用・転載時のクレジット表記のお願い≫

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」